

いいだ人形劇フェスタ 2012

生の舞台は出会い。今、ここだけの出会い。



今年も飯田の街に暑い夏がやってきた。「いいだ人形劇フェスタ2012」が、八月二日から五日まで開催されました。竜丘地区では実行委員会が熱心に取り組み素晴らしい上演が行われました。

八月三日には、三会場をはい朝から夕方まで公演が行われました。途中、会場の広さが小さく舞台設営がでぎず急遽会場を変えるなどハプニングはありましたが無事公演を終えることができました。観客が会場を移動しながら観劇するスタイルで、子どもから大人までたつぷり人形劇を見ることができるとの評判をよび、地区内外の方々と大盛況でした。

劇団も地元の飯田女子高等学校人形劇クラブから、時又分館では時又ふれあいセンターで、劇団「あがりえ弘虫」の世界で一番小さな人形劇が、桐林分館では、一人づかいの人形劇「人形劇団京芸」が、上川路分館では上川路公民館で「山添真寛」による紙芝居、長野原分館では長野原区民センターで、テレビ出演が多い「ゆい*パベットシアター」が上演するなど、アマチュアからプロまで、一人遣いから大所帯の劇団、紙芝居から影絵など、バラエティ豊かな公演がありました。また、駄科区民センターでは、台湾の伝統的な人形劇団「亦宛然勝掌中劇団」、竜丘公民館ではアメリカ人の操る「文楽米人形劇団」が上演されるなど国際色も豊かでした。

今年も飯田の街に暑い夏がやってきた。「いいだ人形劇フェスタ2012」が、八月二日から五日まで開催されました。竜丘地区では実行委員会が熱心に取り組み素晴らしい上演が行われました。

今年も飯田の街に暑い夏がやってきた。「いいだ人形劇フェスタ2012」が、八月二日から五日まで開催されました。竜丘地区では実行委員会が熱心に取り組み素晴らしい上演が行われました。

今年も飯田の街に暑い夏がやってきた。「いいだ人形劇フェスタ2012」が、八月二日から五日まで開催されました。竜丘地区では実行委員会が熱心に取り組み素晴らしい上演が行われました。

今年も飯田の街に暑い夏がやってきた。「いいだ人形劇フェスタ2012」が、八月二日から五日まで開催されました。竜丘地区では実行委員会が熱心に取り組み素晴らしい上演が行われました。

今年も飯田の街に暑い夏がやってきた。「いいだ人形劇フェスタ2012」が、八月二日から五日まで開催されました。竜丘地区では実行委員会が熱心に取り組み素晴らしい上演が行われました。

2012も飯田の夏を彩るのはやっぱり人形劇！ 人形劇一色の四日間



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 7,049人
男子 3,436人
女子 3,613人
世帯数 2,422戸
(24年8月末現在)

一人一人のモラルが竜丘をつくる

不法投棄とはどういうものかをいうのでしょうか？

簡単に言うと、「さまざまなかみを、規則に反して捨ててしまう」ことをいうことです。去年八月二十六日、年二回環境委員で行っている不法投棄パトロールが行われました。場所はきれいに整備された鈴岡公園、新川さる橋付近、白井原、桐林墓地公園などで、大きなごみが捨てられていないかを見て回りました。

今回は委員・事務局九名に加え、竜丘地区基本構想を策定する委員の方々にも竜丘の現状をみていただく、活動に参加していただきました。

パトロールのなかで大きなごみの投棄は確認されませんでした。道路脇・斜面などには明らかにポイ捨てと分かるごみが多くみられました。

その中で残念だったことは、新しく整備されたはずの鈴岡公園の駐車場に灰皿をひっくり返したと思われるたぐさんのタバコの吸い殻が捨てられていたことです。喫煙者の方全てとは言いませんが、一部のしかも大人がみんなど使用公園を汚していることはとても悲しく、恥ずかしいことです。これも細かく言えば不法投棄ではないでしょうか？



鈴岡公園の駐車場に灰皿をひっくり返したと思われるたぐさんのタバコの吸い殻が捨てられていたことです。喫煙者の方全てとは言いませんが、一部のしかも大人がみんなど使用公園を汚していることはとても悲しく、恥ずかしいことです。これも細かく言えば不法投棄ではないでしょうか？

影絵人形劇を体験

人形劇フェスタ竜丘独自企画として影絵劇団夢屋の協力を得て、小学生十二名を対象に影絵人形劇のワークショップが行われました。お弁当を持って集まり、午前中に人形劇のストーリーを考え、登場する人形を作成し、午後の上演に向けてリハーサルを行いました。演目は「大きなカブ」。本来はおじいさんやおばあさんが登場しますが、どんな人（もの）が登場すると楽しいかを考え、考えた人形を作りました。女神さま、ライオン、ウサギ、中には時計やアルファベットなど個性豊かなものが登場するストーリーができあがり、劇団の指導のもと影絵人形を作成しました。作成の段階では形がイメージできず苦労しましたが何とか人形ができあがると、お昼を食べる間もなくリハーサルを行いました。

本番では劇団の方と一緒に素晴らしい人形劇を披露することができました。このワークショップを機に今後も影絵人形劇を続けていくことになりました。皆さんに披露してもらえ、日に来ることを期待しています。

桐林人形パネル展

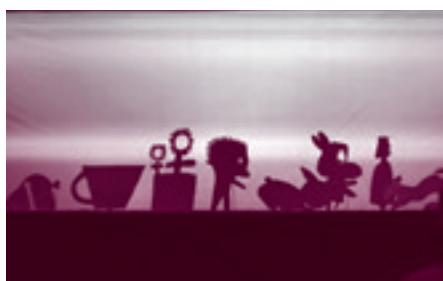
桐林分館では、人形劇フェスタに併せ竜丘公民館で桐林人形パネル展を開催しました。五体の桐林人形を始め、現存するかしらや小道具などの写真パネル百点を展示しました。

江戸時代から明治時代初期にかけて、伊那谷では人形紙芝居が大変な盛り上がりを見せていました。伊那谷では二十八箇所、奉芸



全体に古い特色を備えており、人形芝居の三人遣いが始まったのが享保十九年（一七三四年）と言われる。桐林人形の衣装箱が安永六年（一七七七年）に作られており、すでに盛んに上演されていたことがわかります。

かしらや衣装は桐林区民センターに保管され年一回虫干しが行われていますが、地域に人形芝居があったことを知らない人も多くなってきました。このため、桐林分館の文化部では、人形劇と地域文化の繋ぎの深さを感じてもらえればと、人形劇フェスタ期間中に展示を企画しました。二〇〇一年に飯田市美術館で展示をした際の写真をパネル展示しました。



「基本構想つてな」と思う方も多と思います。将来の竜丘をどのようにしていきたいか、どのようにしていくかを考え、実行していくことです。

情報を得るアンテナを広く持つていないと、自分の住んでいる地域のことすら知らずに生きていくことになりす。そのならないよう、アンテナを広くもてる自分を築いていきたいものです。

ヤブ取

とある全国ネットの番組で、飯田市の情報を取り上げられていました。市役所の新設に伴い樹齢二百年の黒松が建屋にかかってしま、保護が伐採かでもめている内容でした。この番組を見るまでは何も知らなかった私でした。

先日、稲刈りをしていたら、遠方より太鼓の音が響いてきました。龍江で祭りでもあるのかなと、あまり気にもせず作業をつづけました。後日、新聞に「鈴岡太鼓」のみなさんが塚原二子塚古墳で練習を行ったとの記事が載っていました。あの太鼓の響きは、その時のものだったと気づきました。

新聞の写真がカラーだったのでよくわかったのですが、背景の古墳がきれいに整備されていることに気付いたでしょうか。車で横道を通っても、きれいになっていくことがよくわかります。これは木下クリニツクの委員長（竜丘公民館長のこと）が中心となり、毎週日曜日の早朝、美化活動を行っているからです。「継続は力なり」という言葉があります。が、まさにその通りです。

現在、竜丘地区の基本構想の策定が、ステップを踏みながら進められています。今は、第二ステップの連続講座が終了したところです。「基本構想つてな」と思う方も多と思います。将来の竜丘をどのようにしていきたいか、どのようにしていくかを考え、実行していくことです。

